

地域見守りネットワーク事業【社会福祉課】

予算額 0千円

事業概要

流山市は平成24年6月29日に“地域のきずなで孤独死ゼロへ”を目指し、自治会や民間事業者と連携し、地域見守りネットワークを発足しました。

背景には近年、誰にも看取られずに亡くなる、いわゆる「孤独死」が大きな社会問題となっており、自治会や民間事業者などと連携し孤独死を未然に防ぐため、日常的に見守っていく新たなネットワーク作りを進めるものです。

市内全域で見守りが行われるよう自治会を中心とした見守り活動を支援していきます。

<経緯>

- (1) 平成24年6月2～3日に3回に分けて地域見守りネットワーク構築に伴う自治会説明会を開催し、78自治会の参加を得た。
- (2) 6月29日に地域見守りネットワーク発足式を行い、77自治会（86名）、34事業所（46名）、8地区の民生委員児童委員協議会の代表15名、関係機関として流山警察署、流山市薬剤師会、消防本部、社会福祉協議会、地域包括支援センターの参加をいただいた。
- (3) 7月24日に「自治会による見守り活動の事例報告会」を開催し、76自治会（109名）、地域包括支援センター4団体（8名）の参加をいただいた。
- (4) 実施に伴い個別説明を行った自治会（5自治会）
このす台自治会（7／15）、みどり台自治会（7／22）、ゆたか自治会（9／30）、東急団地自治会（12／8）、江戸川台東自治会（12／18）
- (5) ネットワーク事業発足以降の実績（平成25年1月現在）

地域見守り申込者	773名
既に見守りを実施している自治会	27自治会
これから見守りを実施していくという自治会	28自治会

<平成25年度の予定>

市が収集した地域見守り申込者を集計した「地域見守り一覧表名簿」を、見守りを行う自治会、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会に配布し、情報を共有した上で見守る側で話し合い、見守り対象者のニーズに合った見守りを実施していく。

また、5月に開催する自治会懇談会で事業説明を行うとともに、自治会からの要請に応じて事業説明会を開催するなど制度の周知を図り、同時に広報、ホームページでの呼びかけはもとより、福祉関係各課の窓口において見守り対象者世帯に事業への参加を呼びかけ、地域見守りネットワークの輪を拡大していく。